

## 議題「平成30年度予算編成について」に関する東京都の発言要旨

＜小池知事発言＞

○地方消費税の清算基準について

明らかに東京をはじめとする都市部の税収を狙い撃ちをしていると言わざるを得ない。地方税の大原則である応益性を歪め、譲与税化することにはほかならず不適切である。地方消費税は、地方が一丸となり地方税として勝ち取ったもの。こうした歴史の重み、積み重ねを受け止め、地方間の財政調整ではなく、地方の役割に見合った税財源を確保していく必要性について皆さまに改めてよく考えて頂きたい。

○東京23区内の大学の定員増の抑制について

大学の学部・学科の新增設や定員増を抑制することは、大学の教育・研究体制の改革・革新を滞らせ、人こそ資源の我が国の国益を損ないかねない。戦うべきは国内ではなく世界であり、東京であれ地方であれ、そのような大学を強化していくことが必要。

